



## 第7期：平成 27年度事業報告

平成 27年 4 月 1 日～平成 28年3月 31 日



## 目 次

I. 経緯	2
II. 実施事業	3
(1) 障がい者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障がい者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業	4
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 放課後等デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業（児童）	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
2-5. 居宅介護支援事業	
3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売	11
3-1. 障がい者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障がい者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	11
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業	13
5-1. 講師派遣事業	
6. 障害者総合福祉法に基づく移動支援事業	13
6-1. 移動支援事業及び同行援護事業	
III. その他の社会貢献	14
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	14
(1) 平成27年度理事会・評議員会の開催	

## I 経緯

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障がい者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に亘る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。

翌年に山口県及び山口市の施設整備補助金を受け、念願であった施設建設工事（駅通り）を行い平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成により、全ての事業を平成 22 年 4 月 1 日付けにて NPO 法人から社会福祉法人アス・ライフに継承し、新設施設（駅通り）に障がい者自立支援法（当時）による障がい者福祉サービス事業の生活介護・機能訓練・生活訓練事業所を多機能型アス・ライフとして移転した。

平成 23 年度には放課後等デイサービスなかぞのフォア・アスを山口県の基盤整備補助金を受けて全面改装し、バリアフリー化した。

平成 24 年度には多機能型アス・ライフ（駅通り）に、就労移行支援事業所を追加し、4 月より 6 人定員でスタートし 2 年目に定員を 12 名に増員した。

介護保険部門では、平成 24 年 12 月に介護保険通所介護事業所大市デイサービスセンターを新築移転した。それに伴い居宅介護支援事業も新規開設した。高齢者の介護保険部門においては基盤を固め、地域の民生委員等からの相談や利用者の増加など地域に浸透して成果として現れた。平成 25 年度は、地域社会のご支援のもと創立 10 年を迎えることが出来、意義深い年度となった。

施設整備補助金を受けて平成 27 年 4 月 1 日に就労移行支援事業・就労継続支援 B 型事業アス・ワークを開設し、その後にヘルパーステーションを山中ビル 2 階に移転させ大市デイサービスの手狭さを解消させた。今年度は、事業全体の利用者の減少と生活介護事業の重度障害区分での配置加算が僅かな人数で取れなかった。その結果、各部門の努力も報われずに残念ながら第 7 期は経常ベースで赤字決算となった。障害者や高齢者が生き生きと希望を持って生活していくことを支えるアス・ライフの理念を将来にわたり実現するためには利用者から選ばれる活動を行い、社会的責任である継続的サービスを実施していく為に黒字経営の改善に取り組んでいく所存である。



写真上：手芸販売 下：りんご狩り

## II 実施事業報告

### (1) 障がい者福祉サービス・介護保険に係る事業

#### 1. 障がい者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

##### 1-1

事業名 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業

概要 山口県ボッチャ協会、事務局を山口市駅通り  
1-3-10 アス・ライフ内に設置しており、  
毎週金曜日及び毎月第3火曜日の夜に強化練習  
を実施するなど、期を通して運営の支援を行っ  
た。



##### 1-2

事業名 障がい者スポーツ研修会・大会への参加

概要 以下のスポーツ大会への障がい者の参加を支援した。

- ・初級障害者スポーツ指導者研修会  
平成 27 年 5 月 2 日 下関看護リハビリ専門学校
- ・平成 27 年度タンデム教室  
平成 27 年 5 月 9 日 維新百年記念公園
- ・第 15 回キラリンピック大会（フライングディスク・陸上）  
平成 27 年 5 月 10 日 山口きらら博記念公園会場
- ・第 14 回キラリンピック大会（S T T）  
平成 27 年 5 月 17 日 維新百年記念公園他各会場
- ・第 17 回日本ボッチャ選手権大会大分子予選大会  
平成 27 年 7 月 3 日～ 5 日 北海道きたえーる体育館
- ・第 18 回日本ボッチャ選手権大会予選 1 年前リハーサル大会  
兼協会設立 10 周年記念おいでませ！ボッチャ山口大会  
平成 27 年 8 月 9 日 維新百年記念公園スポーツ文化センターアリーナ
- ・第 14 回キラリンピック大会球技の部  
平成 27 年 10 月 11 日 維新百年記念公園アリーナ
- ・第 50 回スポレクフェスティバル  
平成 27 年 10 月 12 日 宇部俵田翁記念体育館
- ・山口市ふれあいレク大会  
平成 27 年 11 月 7 日 小郡交流センター
- ・山口県ボッチャ審判講習会  
平成 27 年 11 月 23 日 山口市リフレッシュパーク

- ・ ボッチャキャンプ  
平成 27 年 11 月 28 日 高知県障害者スポーツセンター
- ・ 第 17 回日本ボッチャ選手権大会本大会  
平成 27 年 12 月 25 日～27 日 グリーンアリーナ神戸
- ・ 障害者スポーツ指導者レベルアップ講習会  
平成 28 年 1 月 16 日～17 日 ホテルかめ福
- ・ 第 13 回山口県障がい者交流ボッチャ大会  
平成 28 年 2 月 14 日 維新百年記念公園アリーナ
- ・ 兵庫県のじぎく杯ボッチャ大会  
平成 28 年 2 月 27 日 兵庫県立障害者交流スポーツ館
- ・ その他各大会各競技、定期練習、合同練習、強化練習の支援に期を通して行った。

## 2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業

### 2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障がい者総合福祉法）において、日中活動系サービスとして位置づけられるサービスを以下のとおり行った。

生活介護：定員 25 名、機能訓練：定員 6 名（平成 26 年 1 月より休止）生活訓練：定員 6 名、就労移行支援：定員 12 名、就労継続支援 B 型：定員 15 名。

利用者の実態、ニーズに沿った形で、平成 27 年度より、就労継続支援 B 型を開始。標準利用期間内に就労が難しかった利用者も、継続して支援が可能となった。

継続可能となった支援の中で、更に利用者の可能性を伸ばし、本人の希望によって、継続した働く場の提供、また、就労へのチャレンジの機会の提供双方ができるようになった。



生活介護では、これまでで初めて、利用者が看取り期に入り、実際に見送る事例も 2 例あ



った。学校卒業後の若い年代の増加も見られ、活発な支援が求められる一方で、終期末の利用者に対するケアも、手探りながら行った。今後も、終期末のケア等、事業所が未経験の部分強化していきたい。生活介護の対象となる年齢層が幅広いことを考慮し、それぞれの利用者のライフステージを意識した支援を行っていく。

主な行事：

花見（4月2日、3日） 計2回  
 りんご狩り（10月5日、15日、27日、11月4日）計4回  
 クリスマス会（12月19日～25日） 計6回  
 初詣（1月13日、15日、16日、19日） 計4回



利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

- ・生活介護： 52名
- ・機能訓練： 0名
- ・生活訓練： 2名
- ・就労移行： 5名
- ・就労B型： 8名
- ・自費： 0名
- ・合計： 67名



述べ利用者数（平成27年4月～28年3月、事業日数：（308）日、単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	375	392	383	372	340	359	371	334	352	313	359	398	4,348 (4,491)
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (22)
生活訓練	29	35	32	31	27	25	21	22	22	0	0	2	246 (408)
就労移行	167	144	140	112	91	94	101	80	82	73	97	107	1,288 (1,831)
就労B型	96	87	118	144	106	118	128	125	122	111	130	146	1431 (0)
合計	667	658	673	659	564	596	621	561	578	497	586	653	7,313 (6,988)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

日中一時支援事業

利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）



・日中一時： 17名

のべ利用回数（平成27年4月～28年3月）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
96	90	92	87	92	99	96	68	73	58	85	80	1,016 (1,150)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

2-2

事業名 放課後等デイサービス事業 フォア・アス

概要 障害のある子どもたちが、日常生活を通して基本的な生活習慣や人・物とのかかわり方を習熟することで、社会適応をよりスムーズにできるように支援していくことを目指して事業を進めてきた。また、障害の特性を十分に把握し理解し、より適切な支援をすることで、子どもたちが主体的、自立的な活動へと促していける。そのためには、子ども一人ひとりに「できる状況づくり」などの環境を整えていくことが重要であると考えて支援してきた。子どもたちが、デイサービスを利用することで、保護者、家族の療育負担を軽減し、子育て支援の一翼を担ってきた。



利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

62名（男子44名、女子18名）

のべ利用者数（平成27年4月～28年3月、事業日数：（308日）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
279	249	279	275	226	261	259	244	235	217	242	248	3,014 (3,059)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

支援概要

4月当初は、新しい学齢児童、待機児童9名が利用することとなった。自閉症児の割合が一段と高くなっている。また、利用児童が18歳児に達した時点で、待機児童の利用を開始したのも特徴である。利用児童は、新しい環境の下、友だちや支援者、場所や物に慣れてもらい、デイでの活動がスムーズにスタートできることが課題であった。

4月の下旬には新しい子どもたちのケース会議をおこない、支援方針の確認や支援内容の吟味、家庭の療育状況などを支援者がしっかり確認し共通理解を図った。また、



定例の集中ケース会議（約一週間）保護者との直接面接相談や書面相談をしながら、個別にモニタリングを実施した。これは前期（9月）、後期（3月）に行い全利用児童の支援計画を明確にした。

月例の職員会議では「気になる子ども」のケース会議も随時に行った。

長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）及び土曜日、祝日（14日）も多くの子どもたちが利用した。平日の放課後デイとは違い、利用時間が長く、活動内容も幅広く準備し計画を立てて実施した。

具体的には

- (1) 屋外のプール利用・・・①仁保の河川プール、②山口県身障者センターのプール、③萩市のサンライフ萩、（土原プール）など
- (2) 公園関係・・・①萩ウエルネスパーク、②周防大橋となりの藤尾山公園、③宇部市の河原谷公園、④新亀山公園、維新公園児童センター、⑤富田原公園、⑥大歳公園、⑦美東町道の駅公園、⑧キララ浜公園、⑨仁保道の駅公園、⑩山口市糸米砂防公園、⑪ときわ公園など
- (3) 科学館など・・・①防府市青少年科学館（ソラール）、②市立図書館、③美術館、④NHK、⑤KDDIなど
- (4) ショッピング関係・・・①コスモス、②ダイソー、③フジグラン、④Mr. Max ⑤レデイ、⑥ゆめタウン、⑦アルク⑧マックスバリュなど
- (5) 調理関係・・・①夏休みのカレー作り週間（延べ一週間）、②お菓子作り、ケーキのトッピング、③かき氷など多くの買い物体験や調理体験、公共機関（施設）のりようなどを通して生活をする力を育むことができた。子どもたち自身が楽しく積極的に活動したことが大きな喜びである。
- (6) 外食関係・・・①ジョイフル、②ミスタードーナツ、など

#### 問題点及び課題

- (1) 常時、利用児童の定員は十分に確保できている。
- (2) 年度当初から次年度の利用希望や2年先の利用予約を伴う見学者が多く受け入れ困難な状況が引き続いている。  
(年度末待機児童が12名いる。)
- (3) 子どもたちの活動内容を充実するためには、活動スペースの構造化を意識しながら安定した活動ができるように配慮した。



(創作活動スペース、DVDの視聴スペース、PC動画の操作スペースなど)



- (4) 狭い空間の利用を楽しくできるようにルールや約束事を守ること。  
このためには言葉の指示だけではなく、障害の特性を理解した視覚優位の子どもたちには、カードや写真、スケジュールボードによる、活動の流れ、時間の確認（始めと終わり・・タイマーを活用）などなど
- (5) 活動をスムーズにするため、室内・屋外活動を多く取り入れ活動の流れをつくり、メリハリを付けながら、興味や関心のある活動を準備し楽しく過ごせるようにしている。
- (6) いろいろな障害を持った子どもたちが多く利用している。基本的な障害特性を十分に支援者が理解し、特化した支援方法を支援者全体で高めていき、より専門性の高いサービスを目指す必要がある。
- (7) 施設内全体はバリアフリー化しており、トイレの利用や室内のオープンスペース、一人ひとりの活動ブースやパテーションの設置で活動しやすくしているので自分の興味や関心のある活動に集中できている。
- (8) 自閉症児への有効な支援方法を開発し、情報の入手や専門機関の研修参加で、支援者の技量を一層高めることが重要である。また、すべての子どもの生活年齢に配慮した支援も大切なことである。



2-3

事業名 日中一時支援事業（児童） フォア・アス

概要 放課後等デイサービス事業と同じく希望者が増加の傾向にある。職員配置が難しい。日中一時単独利用児童には職員配置を必ず一名をつけなくてはならない。報酬単価が低く、放課後等デイサービス事業に影響を及ぼす。（職員配置が難しく専門職加算等が減額されるケースが出てきている。）とはいえ、18歳年齢になったら利用を解除しますというわけにはいかない。事業を行いながら、課題が多い。

利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

60名（男子41名、女子19名）

のべ利用回数（平成27年4月～28年3月）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
63	22	26	55	57	51	42	41	55	41	38	44	535 (475)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

## 研修会・見学等 (行事)

- ① 社会福祉法人新人職員研修会 (該当者なし)
- ② 児童障がい者福祉施設中堅職員研修会 一部 6月 2回  
二部 7月 2回
- ③ 相談支援従事者初任研修会 9月
- ④ 児童発達支援管理者研修会 11月
- ⑤ 山口市自立支援協議会(定例会議) 山口市地域支援協議会(月例)
- ⑥ // 障害児部門会議(月例)
- ⑦ 利用児童にかかる連絡会 山口大学附属特別支援学校
- ⑧ // 山口総合支援学校
- ⑨ 第8回お餅つき会 12月

## 2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要 訪問介護ステーション・通所介護サービス・居宅介護支援サービスを同事業所で行うことで一体化するとともに情報の共有化スピード化を図りより適切な介護支援が出来るようにした。

利用者の状況やご家族の意向を的確に把握し対応する事で、ご本人の生活や機能維持向上を図るとともにレスパイトケアに結びつくよう対処する。また、商店街に近い立地の為、利用者からの買い物の依頼にも対応し易くヘルパーステーションでは時間の節約にもなっている。また、日常生活の中で日々の生活・季節感・社会生活・交流が出来るよう計らう。



認知症の高齢者が増すと共に認知症の利用者が増加している。ますます認知症への理解と対応が必要になってきている。今後の高齢化社会を鑑み障がい者福祉サービスのアス・ライフとの連携も視野に入れ障がい者の高齢化要介護に適応できるよう連絡をとる。



近隣高齢者や地元地域住民との交流も考慮し季節ごと、もしくは年間恒例行事等地域貢献も積極的に立案・実行してゆく。

## 年間行事

### 1) レクリエーション

- 1月：初詣(防府天満宮)      2月：節分(豆まき)      3月：梅見(防府天満宮)
- 4月：お花見(常盤公園)      7月：そうめん流し      10月：りんご狩り(徳佐)

12月：クリスマス会

利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

- ・介護保険通所介護 : 20名
- ・介護予防通所介護 : 7名
- ・合計 : 27名



のべ利用回数（平成27年4月～28年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	156	151	143	139	151	149	178	156	164	151	160	170	1,868 (2,093)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	26	31	36	36	25	43	31	24	30	31	29	31	373 (257)
合計	182	182	179	175	176	192	209	180	194	182	189	201	2,241 (2,350)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

2-5

事業名 居宅介護支援事業

概要 介護認定を受けた高齢者の介護サービス計画を立案し、本人の意向のもとサービス事業者を選定紹介し適切な対応を依頼し、対応状況を確認する。介護認定を受けていない高齢者の介護認定の支援をする。認知症や機能障害で介護の必要な高齢者または要介護認定者の支援をするとともに介護者（おもに家族）のレスパイトケアを行う。

最近有料老人ホームが多く設立されその多様性・独自性をよく理解し必要な利用者に正確な情報を伝えなくてはならない。

また地域に密着した活動が望まれており地元自治会や民生委員との連携も大切な事になってきている。

利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

- ・要介護 : 21名
- ・要支援 : 1名
- ・居宅介護計 : 22名

のべ利用回数（平成27年4月～28年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

介護保険	19	18	17	19	19	19	22	21	20	20	19	20	233 (226)
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--------------

※ ( ) は前年 (平成26年4月～27年3月) 実績

### 3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売

#### 3-1

事業名 障がい者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、必要とする利用者さんに適したポッチャ用具、関連用具のメンテや製作を行った。

### 4. 障がい者 (児) および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

#### 4-1

事業名 居宅介護事業 (障がい者自立支援)

概要 障がい者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者に居宅介護および重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数 (平成28年3月現在)

- ・居宅介護 9名
- ・重度訪問介護 2名
- 合計 11名

・訪問介護 のべ利用回数 (平成27年4月～28年3月) (名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
124	118	124	124	120	124	125	124	122	116	120	121	1,462 (1,392)

・重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	6	6	6	6	7	6	6	6	5	6	6	73 (69)

※ ( ) は前年 (平成26年4月～27年3月) 実績

#### 4-2

事業名 訪問介護事業 (介護保険)

概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。



利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

- ・訪問介護： 24名
- ・介護予防： 21名
- ・経過的予防介護： 0名
- 合計 45名

述べ利用回数（平成27年4月～28年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	274	318	339	387	358	357	350	347	284	269	292	310	3,885 (3,629)
介護予防	202	175	177	175	171	172	185	168	172	133	139	130	1,999 (2,507)
合計	476	493	516	562	529	529	535	515	456	402	431	440	5,884 (6,136)

※（ ）は前年（平成26年4月～27年3月）実績

年間行事

1) ヘルパー会議

- H27年 5月18日 ヘルパー会議・研修（熱中症予防のために）
- 7月20日 ヘルパー会議・研修（職業倫理（接遇））
- 9月28日 ヘルパー会議・研修（記録の書き方）
- 11月16日 ヘルパー会議・研修（障害支援について）
- H28年 1月18日 ヘルパー会議・研修（レビー小体認知症について）
- 3月28日 ヘルパー会議・研修（感染症予防について）

2) 研修受講内容

- H27年 6月20日 「口腔機能の実際向上の実際と口腔ケア」  
講師：ローズデンタルクリニック 場所：カリエンテ山口
- H27年 10月17日 「看取りの場におけるサービス事業所間の連携」  
講師：お元気クリニック院長 岡原仁志 場所：カリエンテ山口
- H27年 11月11日 「マイナンバーの利用範囲と注意点」  
「企業に求められる対応とは？」  
講師：社会保険労務士桑原事務所 桑原 亭 場所：維新公園スポーツ文化センター視聴覚室

H27年11月18日「レビー小体認知症について」

講師：山口赤十字病院神経内科部長 大堀辰平

場所：カリエンテ山口

## 5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業

### 5-1

事業名 講師派遣事業

概要 障がい者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

## 6. 障害者総合福祉法に基づく移動支援事業

### 6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）及び同行援護事業

概要 全身性障がい者の移動支援（地域生活支援事業）及び視覚障がい者の同行援護事業を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障がい者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。視覚障がい者の同行援護は法改正により新たに始まった制度である。外出時の介助が必要な障がい者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。サービス提供と従業者養成研修を合わせて実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認識が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数（平成28年3月現在）

- ・全身性： 28名
- ・視覚障害： 17名
- ・知的発達： 5名
- 合計： 50名



述べ利用回数（平成27年4月～28年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	98	112	87	114	97	121	129	112	92	86	51	49	1,148 (1,380)
視覚	80	92	84	89	81	95	94	87	86	116	124	128	1,156 (1,512)



知的	6	8	6	6	6	7	8	6	6	6	6	6	77 (83)
合計	184	212	177	209	184	223	231	205	184	208	181	183	2,381 (2,975)

※ ( ) は前年 (平成26年4月～27年3月) 実績

### Ⅲ. その他の活動 (社会貢献)

#### (1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計29名(山口大学・白石中・山口総合支援学校)の実習生を受け入れ、H27.6/15～11/20の間に、アス・ライフにて6名、H27.6/8～10/23の間に大市デイサービスセンターにて23名、それぞれ月曜から金曜まで各々5日間の実習をおこなった。



#### (2) ボランティアの参加

今期は、囲碁、将棋、クリスマス、もちつき大会など、35名及び2団体の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやボッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださいました。

(大市デイサービスセンター 8名 / フォア・ア 24名 / アス・ライフ 3名・2団体)

### Ⅵ. 法人の運営に関する事項

#### (1) 平成27年度理事会・評議委員会の開催

##### ○理事会

平成27年 5月21日 第1回理事会  
平成27年 5月21日 第2回理事会  
平成27年 5月21日 第3回理事会  
平成27年12月 3日 第4回理事会  
平成28年 3月24日 第5回理事会

##### ○評議員会

平成27年 5月21日 第1回評議員会  
平成27年 5月21日 第2回評議員会  
平成27年12月 3日 第3回評議員会  
平成28年 3月24日 第4回評議員会

##### 特記事項

H26年度事業報告、決算報告、監査報告の承認。

日本政策金融公庫借入承認。H27年度・H28年度評議員及び理事選任の承認。  
特定個人情報取り扱い内規について承認。大市町山中ビルの利用の承認。  
H27年度補正予算案及びH28年度事業計画案及び予算案の承認。  
放課後等デイサービスおおいち・なかぞのフォア・アスの管理者の承認  
福祉医療機構退職金共済の継続についての承認。

(以上)